

報道機関各位

日本赤十字社埼玉県支部

(埼玉県政記者クラブ・さいたま市政記者クラブ 同時発表)

令和8年5月7日

殉職救護員追悼式を挙行します

戦後81年、記憶を未来へつなぐ“静かな継承”

～看護学生が戦時当時の救護員制服をまとい、献花～

日本赤十字社埼玉県支部（支部長：大野元裕埼玉県知事）は、戦時救護活動に従事し殉職された赤十字救護員を追悼する式典を開催します。

本年は、戦後81年（本年8月で）を迎える中、**未来を担う看護学生が戦時当時の救護員制服を着用して献花を行う新たな取組を実施し、殉職救護員の志を“かたち”として次世代へつなぎます。**

日華事変から第二次世界大戦終結までに、当支部から27班676名の救護員が戦地へ派遣され、32名が殉職されました。本式典は、**昭和27年より続く歴史ある追悼行事**であり、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝え続けています。

■ 今年の特徴（見どころ）

本年の式典では、献花を行う看護学生が、大正期に制定され現在も形を変えず受け継がれている救護員制服を着用します。

この取組は、追悼の意を単なる形式ではなく、「志の継承」として可視化するものであり、静粛な所作とともに、強いメッセージ性を持つ場面となります。

■ 取材ポイント

- ・救護員制服を着用した看護学生による献花
- ・慰霊碑前での静粛な追悼の場面
- ・知事による追悼のことば

式典終了後には、**看護学生および主催者へインタビューいただけます。**

■ 概要

【名 称】 第69回 殉職救護員追悼式

【主 催】 日本赤十字社埼玉県支部

【日 時】 令和8年5月20日（水）10:30～11:30

日本赤十字社看護師同方会埼玉県支部※

【会 場】 日本赤十字社埼玉県支部 慰霊碑前

※看護の向上発展と福祉の増進に寄与することを目的とした日本赤十字社の退職・現職看護師の会。

（さいたま市浦和区岸町3-17-1）

【出 席】 **ご遺族、日赤埼玉県支部長（大野知事）**

【主 催】 日本赤十字社埼玉県支部

赤十字関係者、日本赤十字看護大学

日本赤十字社看護師同方会埼玉県支部

さいたま看護学部学生 ほか



左から
・追悼の言葉を述べる大野知事
・献花する看護学生
・救護員制服
・救護員制服を着用した戦時当時の写真

■ 取材について ■

ご取材いただける場合は、**5月18日（月）正午までに裏面の取材連絡票の送付**をお願いします。

【連絡・問合せ先】

日本赤十字社埼玉県支部 西野・山田 TEL：090-7255-1766（広報担当者携帯）

E-mail：koho@saitama.jrc.or.jp TEL：048-789-7117 FAX：048-834-1520

取材連絡票

FAX : 048-834-1520

| | |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 取材案件名 | 第69回 殉職救護員追悼式 |
| 御社名 | |
| 部署名 | |
| 担当者名 | |
| 連絡先 ※今後当社から取材関連のご連絡をさせていただきます | TEL : e-mail : |
| 媒体名 | |
| 取材目的・ご希望 | |
| 放送・発行予定日 | <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 未定 |
| スタッフ数・機材 | 人 (<input type="checkbox"/> カメラ ・ <input type="checkbox"/> スチール) |
| 放送・発行内容の転載 | <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 応相談 |
| 駐車場 | <input type="checkbox"/> 必要 (車種 : 、ナンバー :) <input type="checkbox"/> 不要 |